



**関西国際空港 最新型床吸塵清掃ロボットの実証運用を実施
～導入済の洗浄型に続き、最先端ロボットでサービス向上をめざします～**

関西エアポート株式会社は、関西国際空港における最新型床吸塵清掃ロボットの実証実験の実施についてお知らせいたします。

今回の実証実験は、近年目覚ましい技術革新を遂げている清掃ロボットを活用することにより、空港のさらなる快適性向上、人材の有効活用によるサービス向上を図ることを目的として実施し、将来的には、ターミナルビル内の清掃作業におきまして、すでに導入しております洗浄型のロボットに加え、床吸塵型ロボットも本格稼働させることを目標にしております。

今回実証するロボットは、衝突回避機能や地図情報、運転内容の記憶によりターミナルビル内の床とカーペットエリアを自律清掃することが可能なほか、スマートフォンやPCで稼働状況を確認することもできます。また、稼働効率も優れており、ノンストップで約3時間運転することが可能です。

関西エアポート株式会社は、今後も最先端技術を積極的に導入し、空港の利便性向上に努め、快適で新しい旅の体験をご提供いたします。

【実証実験概要】

○期 間：2019年7月1日（月）～7月31日（水）

○場 所：第1ターミナルビル国際線出発ゲートラウンジ
第2ターミナルビル国内線出発ゲートラウンジ

○実証機：ソフトバンクロボティクス株式会社のAI清掃ロボット Whiz（ウィズ）



- ・最先端の独自 AI を搭載
- ・地図情報を事前登録
- ・周囲の環境に応じてルートを判断

(サイズ) 約 455mm x 474mm x 653mm (幅×全長×全高)
(重 量) 30kg (バッテリー含まない)

© SoftBank Robotics

「Whiz」「AI 清掃 PRO」の名称、ロゴはソフトバンクロボティクス株式会社の登録商標または商標です。

【本プレスリリースに関するお問い合わせ先】

関西エアポート株式会社
企画・管理部 コーポレート・コミュニケーションズ
Tel : 072-455-2201

25 80 13
KIX ITAMI KOBE



関西エアポート株式会社は、オリックス株式会社と VINCI Airports（ヴァンシ・エアポート）を中核とするコンソーシアムにより設立されました。関西国際空港（KIX）および大阪国際空港（ITAMI）の運営を新関西国際空港株式会社から引継ぎ、2016年4月1日より両空港の運営会社として事業を開始しています。

また、2018年4月1日からは関西エアポート株式会社の100%出資会社である関西エアポート神戸株式会社が、神戸空港（KOBE）の運営を神戸市から引継ぎ、事業を開始しました。

“One 関西エアポートグループ”として、空港の安全とセキュリティを最優先に、適切な投資と効率的な運営によって国内外からの空港利用者へのサービスを強化してまいります。また、関西3空港の可能性を最大限に引き出し、地域コミュニティへの貢献につなげてまいります。

詳しくは、関西エアポートグループホームページ: www.kansai-airports.co.jp/ をご参照ください。

関西エアポート株式会社（関西国際空港および大阪国際空港の運営）

本社	大阪府泉佐野市泉州空港北1番地 大阪市西区西本町一丁目4番1号（登記上）	株主	オリックス 40%、 ヴァンシ・エアポート 40%、 その他の出資者 20% ¹
代表者	代表取締役社長 CEO 山谷 佳之 代表取締役副社長 Co-CEO プノア・リュロ		
事業内容	関西国際空港および大阪国際空港の運営業務、管理受託業務等		

関西エアポート神戸株式会社（神戸空港の運営）

本社	兵庫県神戸市中央区神戸空港1番	株主	関西エアポート株式会社 100%
代表者	代表取締役社長 CEO 山谷 佳之 代表取締役副社長 Co-CEO プノア・リュロ		
事業内容	神戸空港の運営、維持管理業務等		



オリックス株式会社について

オリックスは常に新しいビジネスを追求し、先進的な商品・サービスを提供する金融サービスグループです。

1964年にリース事業からスタートして隣接分野に進出し、現在では融資、投資、生命保険、銀行、資産運用、自動車関連、不動産、環境エネルギー関連などへ事業を広げています。また、1971年の香港進出を皮切りに世界37カ国・地域に拠点を設け、グローバルに展開しています。



世界有数の空港運営事業者であるヴァンシ・エアポートは、46空港の開発・運営を行っています。同社の空港ネットワークを構成するフランス、ポルトガル、イギリス、スウェーデン、セルビア、カンボジア、日本、アメリカ合衆国、ドミニカ共和国、コスタリカ、チリ、そしてブラジルの空港には、合計で約250社の航空会社が就航し、2018年の旅客数は2億4,000万人にのびります。

ヴァンシ・エアポートは総合インテグレーターとしての専門知識を駆使し、空港の開発・資金調達・建設・運営に当たっています。またその投資力、国際ネットワーク、ノウハウを生かして、空港の運営と機能を最適化し、施設拡充や新規建設事業を行っています。

2018年の連結売上高は16億ユーロ、グループ全体の売上高は36億ユーロ（関連会社含む）に達しました。

詳細は www.vinci-airports.com をご覧ください。

¹ 株式会社アシックス、岩谷産業株式会社、大阪瓦斯株式会社、株式会社大林組、オムロン株式会社、関西電力株式会社、近鉄グループホールディングス株式会社、京阪ホールディングス株式会社、サントリーホールディングス株式会社、株式会社JT B、積水ハウス株式会社、ダイキン工業株式会社、大和ハウス工業株式会社、株式会社竹中工務店、南海電気鉄道株式会社、西日本電信電話株式会社、パナソニック株式会社、阪急阪神ホールディングス株式会社、レンゴー株式会社、株式会社池田泉州銀行、株式会社紀陽銀行、株式会社京都銀行、株式会社滋賀銀行、株式会社南都銀行、日本生命保険相互会社、株式会社みずほ銀行、三井住友信託銀行株式会社、株式会社三菱UFJ銀行、株式会社りそな銀行、株式会社民間資金等活用事業推進機構